

保護者等向け 児童発達支援評価表

公表日:

事業所名: 児童発達支援 こぱんはうすさくら札幌太平教室

対象人数(保護者)29人 回答者数 25人 回収 86.2%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏ました対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	18	5		2		
	②	職員の配置数は適切であると思いますか。	23	1		1		
	③	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	19	3		3		
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	20	2		3		
適切な支援の提供	⑤	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	23	1		1	とてもありがとうございます。 お子さんの特性に応じた支援が出来るよう、専門職の配置や、事業所内外の研修会へ参加することで職員がそれぞれ自己研鑽に努めています。	
	⑥	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	24			1		
	⑦	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	25					
	⑧	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	24			1		
	⑨	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	23	2				
	⑩	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	23	1		1		
	⑪	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	9	4		12	まだ通い始めてその機会に参加していないため	スポーツ大会等への参加を通して、地域の方との交流の機会を設けております。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏ました対応
保護者への説明等	⑫	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	23	2				
	⑬	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	25					
	⑭	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレン特・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	13	3	1	8	まだ参加した事がないため	研修会という形はとっておりません。今後、資料を配布する等、家族支援プログラムの方法を考えて参ります。
	⑮	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	21	3	1			
	⑯	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	18	5		2		
	⑰	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	23	2				
	⑱	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8	7	2	8	まだそのようなイベントに参加したことがないため 障害のある親たちとお話する機会があると嬉しいので是非やって欲しい	保護者会という形での開催は今のところございませんが、令和7年度はこばんの子どもたちの運動会を開催しております。保護者の方のご参観、きょうだいのご参加もご案内しております。
	⑲	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17	1		7		
	⑳	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	22	2		1		
	㉑	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	24			1		
	㉒	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	22			3	個人情報しっかりしてるとと思う反面、日々の活動記録が幼稚園保育園と違い本人のみなので周りのこと遊んでる様子(遊べたり一緒に輪に入れてるのか)が分からぬのが少し悲しい	HUGの記録に添付しているお写真は、個人情報の観点から基本的にご利用児童さまのみのものとなっております。お友だちとの触れ合いがわかりにくいというご指摘ですが、記録内の文章でお伝えしていく努力をいたします。その他、ブログやインスタ等のSNSも頻繁に更新しておりますので、事業所の様子はそちらからご覧いただけますと幸いです。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
非常時等の対応	㉓	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13	2		10		
	㉔	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11	2		12	昨今、地震が多いため、避難訓練をやつていただきたいなと思います。(もし例年実施していたらすみません)	令和7年度は、11月に火災、12月に地震の避難訓練を行っております。
	㉕	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	18			7		
	㉖	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	16	2		7	まだ怪我等した事がないため	事業所内で事故怪我が発生した場合には、出来る限り画像を添付し、保護者の方にLINEで状況をお伝えしています。また、様子を見た結果も送迎時にお話しています。
満足度	㉗	子どもは安心感をもって通所していますか。	21	3		1		
	㉘	子どもは通所を楽しみにしていますか。	21	3		1		
	㉙	事業所の支援に満足していますか。	24	1			中々難しいとは思うが、おやつがもっと自然なものになると大満足です。とても満足し、感謝しています。	おやつの内容を、手作りのものや果物、ゼリー等にする日を月に数回設けて行こうと動き出しております。

公表日

2026年 2月 3日

事業所名

こばんはうすさくら 札幌太平教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	13	3	時間で活動を区切っている。	クールダウンのための個別部屋がほしいが、今はテントで代用している。
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	15	1	休憩の時間をズラし手厚い配置が出来るように工夫している。	送迎が集中している時間の人員配置
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	13	3		構造化できる部分は改善していく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	15	1	掃除の係を割り当てており、日々の清掃以外の季節の掃除も管理している。	
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	11	5	心理・構音検査等を行う際は、応接室を使用できるように調整している。	いつでも使用できる個別部屋があると良い。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	15	1	月1回の職員会議にて、目標の確認と振り返りを行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	14	2	HPへ記載。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	16	0	定期的に従業員会の面談を行っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	15	1	グループ会社の内部監査を定期的に受けている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	16	0	社内に研修担当を配置。内外の研修の周知を行い、職員に参加したい研修を募っている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	16	0	毎月のプログラムはHUGと紙ベースで配布。5領域を網羅した内容になっている。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	16	0	保護者の方に事前に記入していただいたアセスメントシートを基に面談を行っている。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	16	0	職員会議の分科会や日々カンファレンスを行っている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	16	0	計画が出来た段階で、全体ラインで周知。職員の目の付く場所に支援計画を書いたホワイトボードを提示している。	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	14	2	フォーマルなアセスメントシートは個別支援計画更新の際に使用している。	インフォーマルなアセスメントに関しては、行う職員により差が生じる恐れがあるため、共有の仕方に注意が必要。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	16	0	適切に運用されている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	15	1	月ごとに担当の職員がで大まかなプログラムを立案し、その後チームで細かい調整を行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	16	0	イベントやおでかけは季節に合わせたものを用意している。	職員の専門性を生かしたプログラムをもっと増やしていきたい。
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	16	0	通常は集団の中で個別対応を行っている。	個別課題は職員と一对一で、社会性の課題の際には集団の活動の中で等、相互作用で療育を行っている。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	15	1	朝礼後、内容の確認と分担を行っている。メインの活動担当の職員が中心となって動きの指示を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	12	4	支援終了後の打ち合わせが難しいため、共有事項は即時ラインで行っている。	ラインを見ていなかったという事も起りうる。職員間でコミュニケーションを取ることが大切。

	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	15	1	HUGにサービス提供実施記録を残している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	15	1	個別支援計画更新の際にモニタリングを行っている。	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	15	1	センター園主催のサービス担当者会議に参加し、関係各所と連携を取っている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	15	1	利用児の通う園と連携を取っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行なうなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	16	0	集団生活へ課題がある利用児の、幼稚園への移行を行った。	
関係機関や保護者との連携	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	14	2	学区外の小学校への見学希望等、教育委員会へ問い合わせを行い保護者の訪問のアポを取った。	
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	13	3	センター園と定期的に事業所の運営状況を話す機会がある。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	11	5	地域のイベントへの参加は行っているが、交流とまではいっていない。今後どのような形でそういった機会を設けることが出来るか検討していく。	
	33	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	16	0	主に送迎時に今日あった事や最近の出来事のフィードバックを行っている。	そのため利用児の支援方法について常に話し合っている。こういった事案があったと報告、改善方法をラインで共有、実践という形を取っている。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	11	5	市や自立支援協議会等から、保護者向けの研修があった際には案内を行っている。	ペアレントトレーニングという形では実施出来ていない。 今後保護者会等開催予定。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	16	0	契約時に丁寧に行っている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	16	0	アセスメントシートを用いて面談を行ったうえで支援計画を作成している。	
保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	16	0	適切に運用されている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	16	0	ライン、HUG、電話、面談等、保護者の方の都合に合わせていつでも相談を受けられる体制を整えている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	11	5	親子参加の運動会やソリ大会を実施している。	保護者会という名目で会を開催予定。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	16	0	適切に運用されている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	16	0	適切に運用されている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	16	0	適切に運用されている。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	16	0	個々のご家庭の都合に合わせて情報を共有している。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を行っているか。	11	5	事業所に地域住民を招待したことはない。	事業所でイベントを開催した際に、SNSで発信、招待する形を取る。

非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	15	1	年間でスケジュールを立てて、適切に運用されている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	15	1	年間でスケジュールを立てて、適切に運用されている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	16	0	契約時にフェイスシートにて聞き取りを行っている。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	16	0	適切に運用されている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	15	1	年間でスケジュールを立てて、適切に運用されている。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	15	1	適切に運用されている。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	15	1	何か起きた時には書いている。	ヒヤリハットを書いた職員が、ミスをしてしまったと感じてしまうことの無いよう、みんなで気を付けるために書くものという認識を今一度確認。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	15	1	年間でスケジュールを立てて、適切に運用されている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	15	1	支援計画には記載していない。	身体拘束が一時的なものではなく継続的なものになる場合に、身体拘束を行う場合があるということを契約時に説明している。